

やさしい日本語版産後うつ尺度の作成

Edinburgh Postnatal Depression Scale Japanese version friendly to non-Japanese mothers

○ラック チャンクンティ¹, 椎葉 奈子², 杉本 敬子³, 福澤利江子³, 入山 美保⁴

Chankunthy Lak, Nami Shiiba, Keiko Sugimoto, Rieko Fukuzawa, Miho Iriyama,

1 筑波大学 医学群 看護学類

College of Nursing, School of Medicine and Medical Sciences, University of Tsukuba

2 筑波大学大学院 人間総合科学学術院人間総合科学研究群 看護科学学位プログラム

Graduate program in Nursing Science, University of Tsukuba

3 筑波大学 医学医療系

Faculty of Medicine, University of Tsukuba

4 筑波大学 人文社会系

Faculty of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba

【背景】

グローバル化が進む日本において、在日外国人の多様化が進むに伴い、自治体や医療施設では、通常の日本語でのコミュニケーションが難しい在日外国人に、支援者とのコミュニケーションを円滑にする「やさしい日本語版」の取り組みが始まっている。外国人妊産婦の複雑なニーズを把握するためには、多言語版だけでなくやさしい日本語で表記された質問票が求められる。

【目的】

本研究では、日本語や英語を母語としない多様な背景をもつ産後の母親へのケアに有効な、産後うつ尺度のやさしい日本語版を作成することを目的とした。

【方法】

この研究報告では、尺度開発研究の一部(翻訳とプレテスト)を報告する。産後うつ病のスクリーニングを目的として開発された EPDS(エジンバラ産後うつ病質問票: Edinburgh Postnatal Depression Scale (Cox et al, 1987) の英語版をやさしい日本語に翻訳した。翻訳方法は、コミットアプローチを用い、日本語能力試験 N4 程度の日本語能力をもつ外国人が返答しやすいように表現を工夫した。その後、協力が得られた外国人に質問票に答えてもらいながら、認知面接(プレテスト)を実施した。

本研究は、倫理委員会(筑波大学医学医療系/第1538号)の承認を得て実施した。

1. コミットアプローチによる翻訳

下記の5点について研究チームにて議論を重ね、やさしい日本語の質問票(図1)を作成した。

- ①平易な単語の選択
- ②ひらがな、カタカナ、漢字の選択
- ③漢字へのルビ付けと分かち書き(文節ごとに分ける表記法)
- ④日本語文法に則った表現
- ⑤言葉の統一

2. 日本語教育の観点からN4レベルにさらに修正

3. 認知面接法

4名の外国人褥婦(ベトナム, ネパール, ペルー, スリランカ出身)との認知面接を行った。対象者には個別でアンケートを見てい

ただき、回答後に表現について尋ねた。意味が理解できない文章については、その場で口頭にて説明をして、文章の分かりやすさを確認した。

9. この7日間、^{にちかん} ^{かな} ^な悲しくて、泣くことはありましたか?
 ・いっぱい あった。 ・あまり なかった。
 ・ちょっと あった。 ・ぜんぜん なかった。

図1. 質問事項の例

【結果】

認知面接により、質問票にあるやさしい日本語の表現が難しくなく、理解できるという解答が得られ、妥当性が確認された。

【考察】

対象者の日本語レベルに応じて、外国人妊産婦の母語ではなく、やさしい日本語の質問票を用いることにより、支援者が母親とコミュニケーションをとり、傾聴と共感という基本的なメンタルケアを行うためのツールとして活用できる。

今後、表現の再検討を踏まえて、外国人妊産婦を対象としたアンケート調査を実施し、信頼性・妥当性(区分点の設定や国籍別の検討、母語版との比較など)の検証が必要である。

【結論】

やさしい日本語版の質問票の使用は、支援者にとって多様な外国人妊産婦のニーズ把握の機会を拓ける可能性がある。

【利益相反】

本研究における利益相反はない。

【引用文献】

Cox, JL, Holden, JM, Sagovsky, R (1987). Detection of postnatal depression. Development of the 10-item Edinburgh Postnatal Depression Scale. *British Journal of Psychiatry*. 150, 782 - 786.

出入国在留管理庁・文化庁(2020). 在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン.

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/pdf/92484001_01.pdf